



飛雄南図

令和2年(2020年) 第7号

6月26日

発行者 校長 金城 正樹

楽しかった親睦球技大会！

6月19日(金)は生徒の皆さんの思いが通じて、絶好の球技大会日和となりました。9時からの開会式は各教室にて放送で行い、9時30分からグラウンドで競技を開始しました。競技方法は、全18クラスを抽選で3クラスずつ(A~F)の6つの予選リーグに分け、各予選リーグでの1位の6クラスと予選リーグでの総残数の多い2クラスが敗者復活として決勝トーナメントに進み優勝を目指します。午前中に予選リーグを全て終え、昼食時間、午後は決勝トーナメントと決勝トーナメントに進めなかったクラスでの交流戦を行いました。決勝トーナメントに進出したクラスは、トーナメント順に3-5、2-3、3-4、2-1、1-3、3-3、3-6、2-4となりました。1-3が予選リーグで3年のクラスに勝利し、1年で唯一決勝トーナメント進出となりました。特に2、3名の女子が大活躍していました。おめでとうございます。男子はサッカーのスローイングの要領で両手でボールを持って投げるので、1投で相手に当てるのはなかなか難しく、クラスでの作戦が大事になります。また、ソフトボール部やバスケット部などの投げるのが上手な女子がいるクラスも勝ち進んでいった印象を受けました。

①開会式の様子



②開会式で挨拶する生徒会長



③競技の様子



昼食時には、2-6がクラス全員で、担任の大城先生を中心にピロティで輪になって、楽しく弁当を食べていました。2-6は予選リーグで1勝1敗となり、残念ながら決勝トーナメントには進出できませんでしたが、クラスみんなで弁当を食べることで、新しいクラスでの絆が強く深まったのではないのでしょうか。

④2-6全員での弁当の様子1



⑤2-6全員での弁当の様子2



次ページへ続く

午後の決勝トーナメントの結果ですが、ベスト4進出は3-5、3-4、3-3、3-6の4クラスで全て3年生となりました。さすが3年生、チームワークがとても良かったです。国際文科のクラスも頑張っていました。生徒会の皆さん、今回の予選リーグ結果の検証と、今後、さらなるルールの検討と工夫改善をお願いします。

さて、3年生同士、それも奇しくも理数科VS普通科の争いとなった準決勝は、接戦となりましたがどちらも理数科が勝ち上がりました。決勝は3-4と3-3が大熱戦を演じましたが、最終的には最後まで冷静に戦術に徹した3-3が栄冠に輝きました。担任曰く「見事に俺の戦術が功を奏した」とご満悦の様子でした。優勝した3-3の皆さん、おめでとうございます。皆さんの作戦勝ちです。準優勝の3-4も強かったです。良く頑張りました！

そして、総合優勝学級は3組でした。1-3、2-3、3-3の皆さん、総合優勝おめでとうございます。3クラスとも決勝トーナメントに進出していましたね。あっぱれ！

⑥競技の様子



⑦競技の様子



⑧競技の様子（決勝戦）



生徒の皆さん、親睦球技大会お疲れさまでした。1年生の皆さん、本校は学習も行事も全力で取り組みます。楽しく充実した1日となったことでしょう。今回の親睦球技大会で新しい友達ともだいぶ親しくなり、これからの学校生活がより充実したものになることを期待します。

今回、この行事を企画・運営した生徒会の皆さん、大変お疲れさまでした！準決勝辺りから、勝ち上がったクラスで、興奮して密状態になった生徒がいた、熱中症の症状の出た生徒がいたなどの反省点もありましたが、皆さんの頑張りで素晴らしい親睦球技大会になりました。

PTAからドリンク提供

今年は新型コロナウイルス感染症対策のため、遠足や向陽祭が中止となっています。その様な状況の中、5月22日(金)に行われた第2回PTA総務部会の協議で、学校行事等が行われる際に、ドリンクなどを提供し生徒を激励できないかの提案があり、今回さっそく、全生徒、教職員に1本ずつドリンクの提供をしてもらいました。有り難うございました。

また、午後からはPTA奨学金の資金造成のための、ドリンクとワッフルの販売もありました。ご協力していただいた保護者の皆さん、大変有り難うございました。

